

コラム

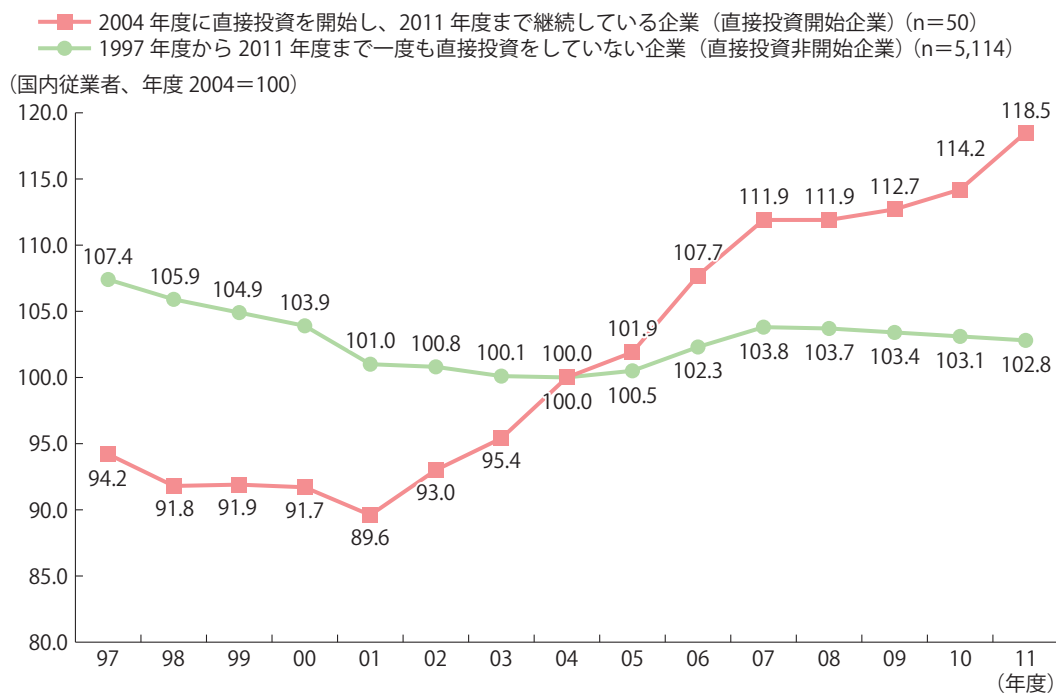
3-4-1.

海外展開が国内雇用に与える影響

前掲第 3-4-24 図、第 3-4-25 図のように、直接投資の開始によって売上高や利益に良い影響を与える企業が多いという結果が出た。一方で、直接投資の開始によって国内の雇用が減少するのではないか、という懸念も存在している。海外展開の開始によって、国内の雇用にはどのような影響があるのだろうか。

コラム 3-4-1 ①図は、「企業活動基本調査」の 1997 年度から 2011 年度のパネルデータを基に、2004 年度に直接投資を開始し、2011 年度まで継続している企業（直接投資開始企業）と 1997 年度から 2011 年度まで一度も直接投資をしていない企業（直接投資非開始企業）の国内従業者数の推移を見たものである。これを見ると、2004 年度直接投資を開始した時点から、国内従業者数は減っておらず、むしろ増加していることが分かる。ただし、国内従業者数は 2001 年から増加しており、国内従業者数の増加が全て直接投資の開始を要因としたものではないことに留意が必要である。

コラム 3-4-1 ①図 直接投資開始企業の国内従業者数（中小企業）（2004 年度開始）



資料：経済産業省「企業活動基本調査」再編加工

- (注) 1. ここでいう直接投資とは、海外に子会社又は関連会社を保有することをいう。
2. 1997～2011 年度のパネルデータを使用している。
3. 国内従業者数＝従業者数合計－海外従業者数。
4. 指数の算式は加重平均値としている。

一方で、前掲第 3-4-24 図、第 3-4-25 図では、直接投資の開始によって、国内の雇用に悪い影響を与えたと回答している企業も多くはないが、一定数存在していることが分かる。直接投資の開始により、国内雇用を増